

3研究分野(発達認知科学・生物人類学・比較行動学)でやります！

合同輪読会



3/18 水

13:30-15:30

大阪大学 人間科学研究科
ラーニングコモンズ（申込不要）

モデレーター

西村 剛 (生物人類学) · 勝 野吏子 (比較行動学) · 萩原広道 (発達認知科学)

対象論文

Language evolution

Arnon, I., Carmel, L., Claidière, N., Fitch, W. T., Goldin-Meadow, S., Kirby, S., Okanoya, K., Raviv, L., Wolters, L., & Fisher, S. E. (2025).

What enables human language? A biocultural framework.

Science, 390(6775), eadq8303. <https://doi.org/10.1126/science.adq8303>

昨年*Science*誌に出版されたレビュー論文を対象に、3つの研究分野で合同輪読会を行います。当該論文は、ヒトがもつ言語能力の進化を解明するための学際的かつ実証的な研究枠組みを提示するものです。3つの事例（音声生成学習、言語構造、社会的基盤）を手がかりとして、“複数の能力が重なり合って”発現するものとして言語をみつめます。ご関心のある教職員・学生のみなさま、ぜひ一緒に議論しましょう！

お問い合わせ 萩原広道（大阪大学大学院人間科学研究科）hiromichi.h.hus@osaka-u.ac.jp

主催 大阪大学 大学院人間科学研究科 発達認知科学研究分野
共催 大阪大学 大学院人間科学研究科 生物人類学研究分野
大阪大学 大学院人間科学研究科 比較行動学研究分野
発達と教育のためのプレイフル・ラボ・
未来共創センター・IMPACTオープンプロジェクト

